

# 「地域人材を活用した登下校の見守り活動」

山梨県教育庁スポーツ健康課

## 山梨県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業実施要領より（一部抜粋）

### 1 趣旨

学校や通学路における事故・事件が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ子どもたちが安心して教育を受けられるよう、家庭や地域の関係機関・団体と連携しながら、学校の安全管理に関する取組を一層充実する必要がある。このため、家庭、地域との連携を図り、地域ボランティアを活用するなど地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備し、安全で安心できる学校が確立できるよう各種取組を行う。

### 2 実施主体：市町村教育委員会

### 3 事業内容

本事業の実施にあたっては、地域ぐるみで効果的・継続的な子どもの安全確保に向けた体制を整備できるよう考慮することとし、原則として、以下の（１）～（３）の全ての事業を実施することとする。

#### （１）スクールガード・リーダーによる学校の巡回指導と評価等の実施

警察官OBや防犯の専門家等をスクールガード・リーダーとして委嘱する。スクールガード・リーダーは、各学校を定期的に巡回し、警備のポイントや改善すべき点などの指導と評価や、スクールガードに対する指導等を行う。また、必要に応じ、スクールガード・リーダーによる学校の巡回指導等を円滑に実施するため、スクールガード・リーダーの連絡協議会等を開催することや、スクールガード・リーダーに人材を継続的に確保するため、学校安全に積極的に取り組んでいた教職員OB等を対象に育成講習会等を開催することができる。

#### （２）スクールガード養成講習会の開催

学校や通学路で子どもたちを見守るスクールガード（学校安全ボランティア）を養成するための講習会を開催する。なお、開催にあたっては、多くの方々に参加することができるよう、開催場所、開催回数等に配慮するものとする。

#### （３）子どもたちの見守り活動の実施

学校安全のために、学校安全ボランティア等を活用しつつ、例えば、登下校時におけるパトロール、防犯訓練の実施、通学安全マップの作成、ITを活用し関係者間で情報を効果的に共有できるような取組、路線バス等をスクールバスとして活用し通学路の安全を確保するような取組など、学校・家庭・地域が一体となり子どもの安全を見守る活動を実施する。

# 1 スクールガード・リーダー育成講習会

## 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業による

- ・ 毎年1回実施（県教育庁スポーツ健康課主催）
- ・ 参加者  
スクールガード・リーダー（警察官OB、教員OBなどで構成）、スクールボランティア、スクールサポーター、各市町村担当者、教育事務所等
- ・ 内 容  
講 演： 県内発生事故や事案について  
（警察本部生活安全部 少年・女性安全対策課より）  
実践発表： 地域の見守り活動について（事例発表）  
情報交換： ①各地域の見守り活動の組織と内容  
②SGLの巡回指導の成果と課題  
③スクールサポーター（警察官OB）による助言  
この育成講習会において、各地域での課題や活動状況を情報交換し、今後の活動に活かす良い機会となっている。その後、各市町村においてもスクールサポーター講習会を実施。

# 2 各地域での見守り活動事例

- ・ 地域防災無線を使って児童の下校時に地域に放送（富士川町）
- ・ 地域安全ステーションの設置（公共の体育館を利用）（北杜市）
- ・ スクールガード・リーダーが中心となり各学校に学校応援団を設置  
（南アルプス市）
- ・ 市非常勤職員（給食食材運搬）が勤務後に、運搬車を使いながらパトロール  
（忍野村）

ほぼ全地域で

- ・ 子供110番の家の設置
- ・ 市町村独自で青色パトカーを配備しパトロールを実施

# 3 「地域における児童生徒の通学時等の防犯ハンドブック」

- ・ 通学中の児童生徒等が犯罪被害に遭う事案が発生していることから、登下校を地域全体で見守る体制の整備のための参考資料を作成。（H30年6月11日）

※資料配付先：市町村等教育委員会、公立高等学校、県立特別支援学校

本ハンドブックはスポーツ健康課のホームページよりダウンロード可能となっております。 URL: (<http://www.pref.yamanashi.jp/sports/gakutaitop.html>)